

わたしの好きな
寄居
My favorite
No.232



メアリスビル市との友好の橋
〈ポッターズバーグ橋レプリカ〉



アメリカ・メアリスビル市から、友情のシンボルとして、現地にあるポッターズバーグ橋のレプリカをお贈りいただきました。

この橋は、ルーベン・パートリッジ氏によって1868年に建造され、2006年に歴史的建造物として後世に残すべく、メアリスビル市郊外に移築されました。パートリッジ氏は多作の建築家で、オハイオ州内外につくった橋の数は数百にのぼります。現在この橋はユニオン郡に所有されており、森のトレイルに続く歩行者用の橋として維持されています。

このレプリカは、まず橋そのもののスキャンをとり、設計図を描き起こして、メアリスビル市にあるホンダ工場で3D印刷技術により作製されました。3Dプリンターを使ってレプリカを作った際、実に48時間以上の時間がかかったそうです。

ゴア市長からは、「我々の友好関係はまさにこの橋のように、遠い距離を越えて繋がっており、過去を大事にし、時が移り変わっても衰えない、親善と友情に基づいた明るい未来に繋がっています。この橋のレプリカをもう一点作製し、メアリスビル市にも展示する予定です。このレプリカが、寄居とメアリスビルの友好の橋として皆様に愛されることを願っております」とのお言葉をいただきました。

このレプリカが、市町の友好の架け橋となるよう、今後もメアリスビル市との親交を深めていきます。



↑歓迎セレモニーの中で「友好の橋」を紹介するゴア市長



←今年5月に井部副町長が現地の橋を視察しました

親子 De 笑顔

子育て支援施設を利用された皆さんを中心に紹介しています。



梅澤咲江さん・琉空くん(4歳)・恒太くん(1歳6カ月)

☺子育てのポリシー

あいさつの中でも「ありがとう」や「ごめんなさい」を素直に言える、思いやりのある子どもに育ってほしいです。親も子どもと一緒に成長していきたいと思っています。

☺お子さんが夢中になっていること

兄弟そろって音楽が好きで、テレビから流れる音楽に合わせて歌ったり、リズムに合わせて体を揺らし、踊ったりしています。2人で仲良く遊んでいる姿はとてもほほえましいです。



山口英行さん・翔子さん・結羽くん(2歳7カ月)・透羽くん(3カ月)

☺子育てのポリシー

弟が生まれ、毎日にぎやかです。2人が仲良く、思いやりを持って育てられるように子どもたちと接しています。また、健康で元気に育てほしいとの思いから、できるだけ外で遊ぶようにしています。

☺お子さんが夢中になっていること

夏は庭のプールで水遊びをし、1度入ると2時間近く遊んでいます。おもちゃの車や電車を床やレールの上で走らせることも大好きです。弟のおムツを持ってきたり、麦茶を与えたり、兄らしい一面も見せています。